



シンポニー®を自己注射される潰瘍性大腸炎の患者さまへ

Simponi® Guidebook

シンポニー® 皮下注 50mg
シリンジ・オートインジェクター
自己注射のためのガイドブック

潰瘍性
大腸炎

ヤンセンファーマ株式会社

田辺ファーマ株式会社

Johnson & Johnson

 田辺ファーマ

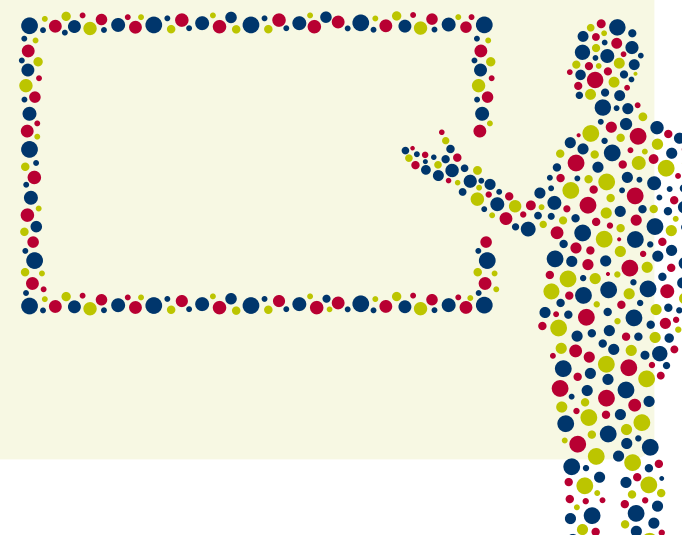
はじめに

シンポニー[®]皮下注50mgシリンジ(以下、シリンジ)、
シンポニー[®]皮下注50mgオートインジェクター(以下、オートインジェクター)は、
ご自身または介護される方によって在宅で注射ができると医師に判断された場合に、
処方されるお薬です。

シンポニー[®]は、お薬の成分が専用の注射器(シリンジおよびオートインジェクター)に
充填された使い捨ての注射キットです。
初回投与時に4本、初回投与2週後に2本、以後は4週間に1回2本注射します。

はじめてシンポニー[®]で自己注射をする方は、
必ず医師または看護師から、
適切な注射方法の指導を受けてください。

自己注射について、わからなくなったり、
不安を感じた場合には、医師または看護師にご相談ください。



INDEX

シンポニー®の副作用 P3～4

注射の前に P5～6

シリンジ

ステップ1：注射の準備・・・P7～12

ステップ2：注射の仕方・・・P13～16

ステップ3：注射後 P17～18

注射手技ダイジェスト P19～20

オートインジェクター

ステップ1：注射の準備・・・P21～26

ステップ2：注射の仕方・・・P27～30

ステップ3：注射後 P31～32

注射手技ダイジェスト P33～34

よくあるご質問 P35～36

シンボニー[®]の副作用

シンボニー[®]の治療により、以下の副作用があらわれる可能性があります。
早期の発見・対応が重要ですので、少しでも「おかしいな」と感じる事が
ありましたら、できるだけ早く医師または看護師にご相談ください。

●よくみられる副作用

感染症

上気道感染や鼻咽頭炎など、
風邪のような症状が
みられることがあります。

注射部位反応

注射部位に紅斑^{こうはん}、かゆみ、じんましん
などの注射部位反応が
みられることがあります。

●発現する可能性のある重要な副作用

重篤な感染症

シンボニー[®]はTNF α の作用を抑制することで
効果を発揮しますが、TNF α のはたらきが抑えられる
ことで免疫力(体を病原体などから守る力)が低下して、
感染症にかかりやすくなる可能性があります。
副作用の多くは鼻咽頭炎(風邪の一種)、上気道感染、気管
支炎などの軽度なものですが、敗血症、肺炎、結核などの
重篤な感染症や、真菌などの日和見^{ひよりみ}感染症に
かかりやすくなる可能性があります。

●発現する可能性のある重要な副作用(続き)

だつずいしかん

脱髄疾患

神経を覆っている膜(髄鞘^{ずいしょう})が破壊される病気(脱髄疾患)が起こることがあります。
代表的な疾患に多発性硬化症があります。
脱髄疾患にかかっている方または既往のある方、あるいはご家族に脱髄疾患と診断されたことのある方がいる場合は、必ず医師に伝えてください。

間質性肺炎

発熱、咳、息苦しいなどの症状が
みられたら、医師に伝えてください。

うっ血性心不全

うっ血性心不全があらわれる、
または症状を悪化させることがあります。

自己免疫疾患

異常な自己免疫反応により自己抗体が
あらわれ、関節痛・筋肉痛・皮疹などの
症状があらわれることがあります。

悪性腫瘍

本剤との因果関係は不明ですが、
投与を受けた患者さんでは
悪性腫瘍・悪性リンパ腫が生じるリスクが
高くなる可能性があります。

ラテックスアレルギー

本剤の注射器の注射針カバーの素材には乾燥天然ゴム(ラテックス類縁物質)が
含まれているため、ラテックスに過敏な場合、まれにかゆみ、発赤、じんましん、むくみ、
発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー症状を
起こすことがあります。

血液障害

血液中の白血球、好中球、血小板などが
減少することがあります。

B型肝炎の再燃

B型肝炎ウイルスキャリアおよび
既往感染の患者さんでは、
B型肝炎が再燃することがあります。

アレルギー反応

呼吸困難、血圧低下、じんましん、
吐き気などを生じる
アナフィラキシーショックを含む
重篤なアレルギー反応が
起こることがあります。

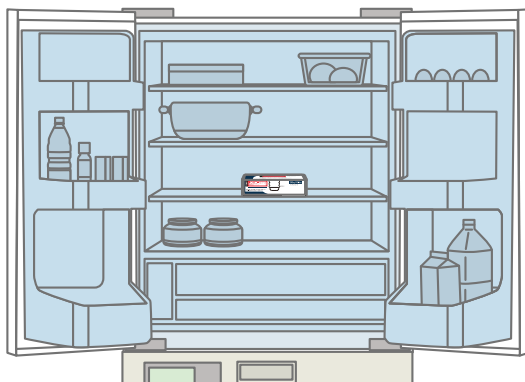
●その他の注意

生ワクチンの接種

感染症が生じるリスクが否定できない
ため、生ワクチン接種(BCG、麻疹、風疹、
水ぼうそう、おたふくかぜ など)は
行わないでください。

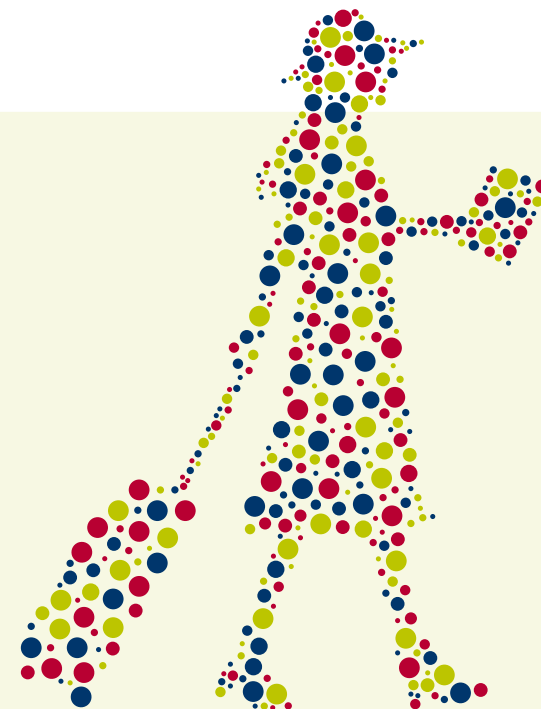
注射の前に

●シンポニー®の保管方法

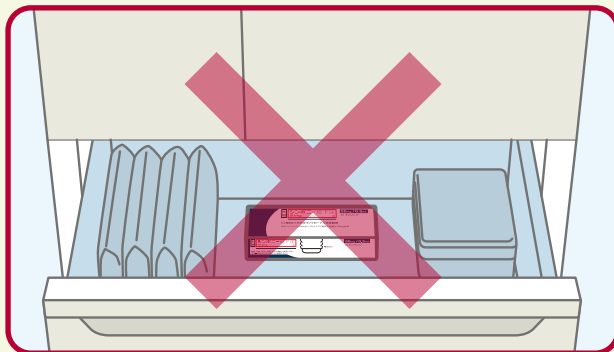


医療機関で受け取ったお薬は
注射をするときまで
ケースごと必ず冷蔵庫で保管してください。

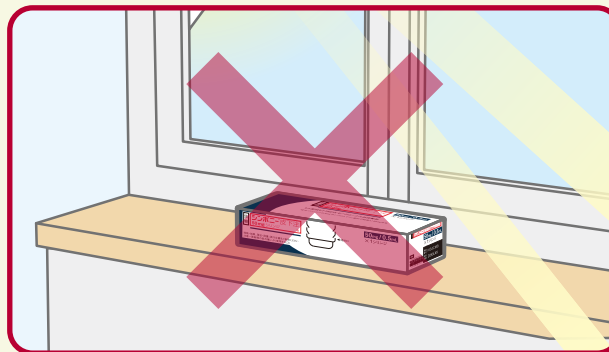
チルド室には保管しないでください。
お薬が入ったケースが冷蔵庫に保管されていることを
ご家族など冷蔵庫を開ける方に伝え、ケースをさわったり
取り出したりしないように伝えておきましょう。



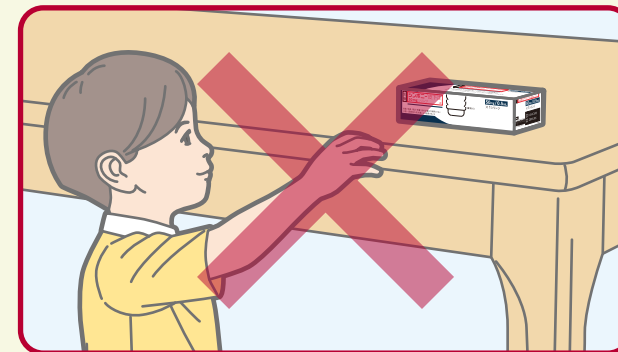
●注意点



凍結を避け冷蔵庫(2~8℃)で保管してください。



直射日光のあたる場所に放置しないでください。



お子さまの手が届かない場所に保管し、手を触れないように指導してください。

●注射に必要なもの

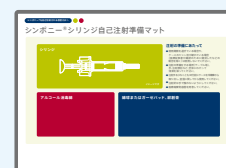
シンボニー®の注射に必要な備品は、注射する前に用意してください(詳細はP9、23)。
2本注射する場合は、シリンジとオートインジェクターは併用しないでください。



☐ お薬(シンボニー®)



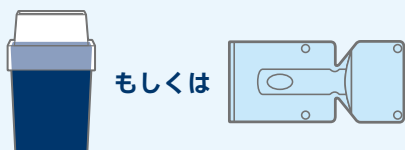
☐ アルコール消毒綿



もしくは



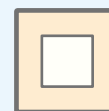
☐ 自己注射準備マット



☐ 使用済みシリンジやオートインジェクターを
廃棄するための容器(医療廃棄物容器)
(詳細はP17、31)



☐ 綿球またはガーゼパッド



☐ 絆創膏



☐ 「私のシンボニー®治療日記」

●体調管理

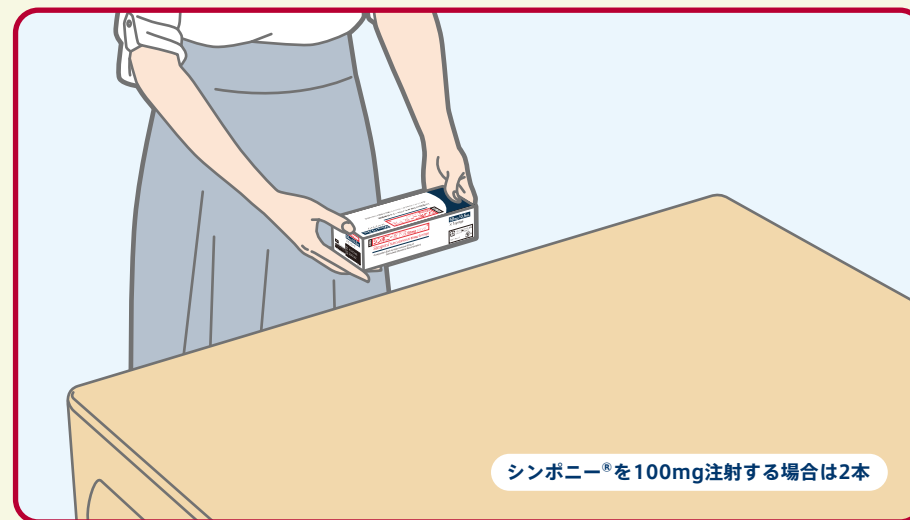
注射前に、ご自身の体調を確認しましょう(詳細はP3、4)。

！体調が悪いときは無理に注射せず、医師または看護師にご相談ください。

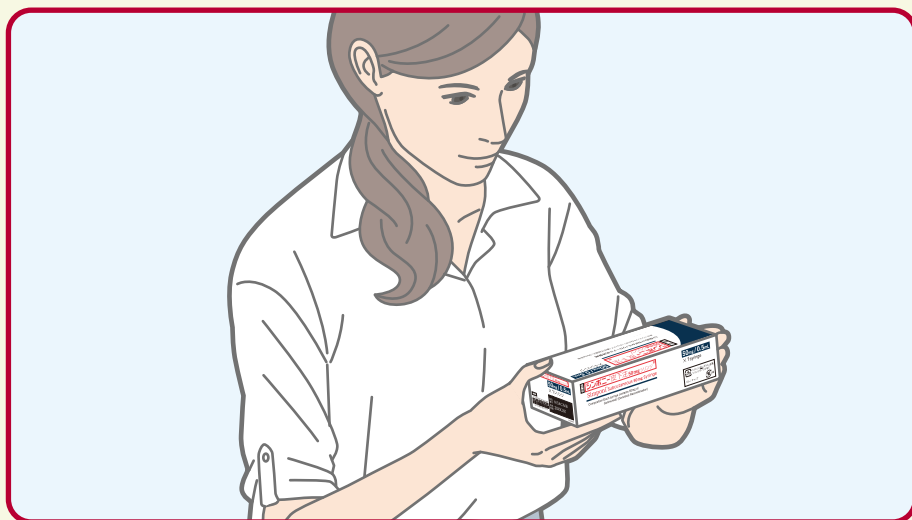
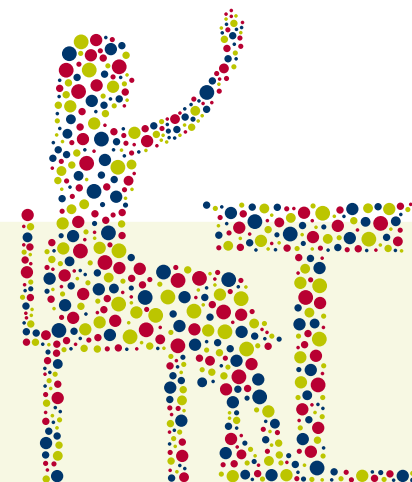
お薬を置く机はあらかじめ
ふいておきましょう。



① ケースを確認します。



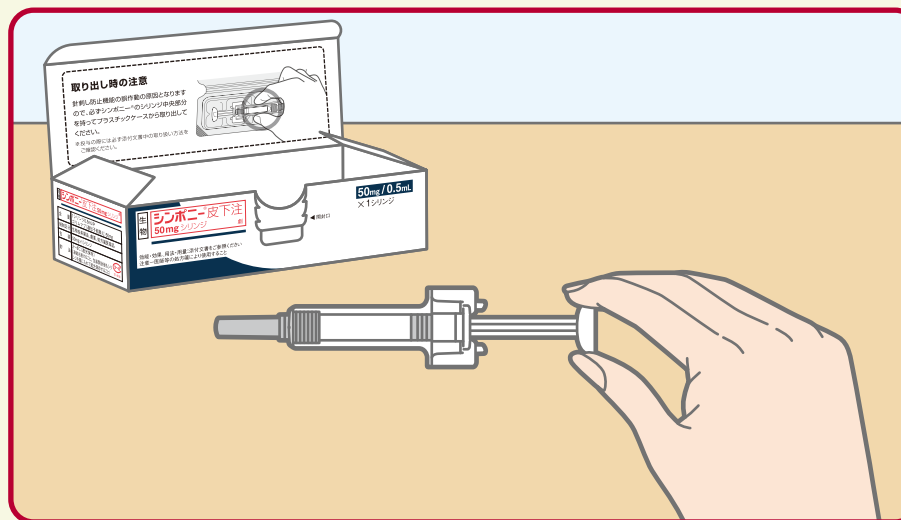
はじめに、冷蔵庫からシリンジのケースを取り出します。
注射する少なくとも30分前に冷蔵庫から
取り出してください。



ケースの側面に記載されている使用期限を確認します。

- ！使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
- ！医療関係者が確認のために開封したなどの場合を除き、ケースのミシン目が破れている場合は使用しないでください。

上記にあてはまる場合は、医師または薬剤師、医療機関にご連絡ください。



ケースを開封してシリンジを取り出し、シリンジが破損していないことを確認します。薬液確認窓に記載された使用期限を確認します。シリンジをテーブルや処置台の上などの平らな場所に置き、注射する前に少なくとも30分室温に置きます。

- ！使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
- ！電子レンジなどでシリンジを温めないでください。
- ！シリンジを振らないでください。

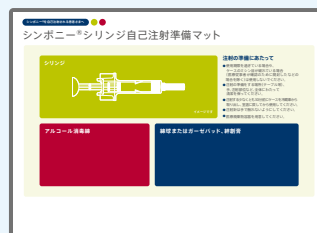
置き忘れに注意してください。また、お子さまの手が届かない場所に置いてください。

②シンボニー®の注射に必要な備品を自己注射準備マットに並べます。



シンボニー®を100mg注射する場合は2本

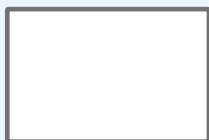
☐ お薬(シンボニー®)



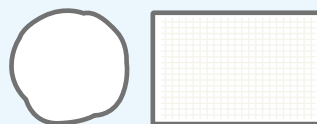
☐ 自己注射準備マット



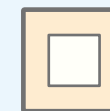
☐ 使用済みシリンジを廃棄するための容器
(医療機関から提供される医療廃棄物容器)



☐ アルコール消毒綿

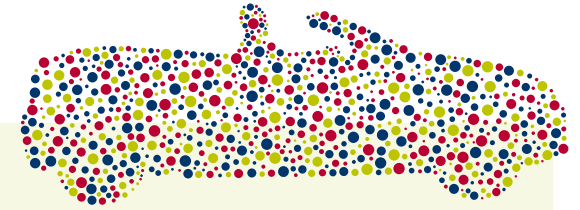


☐ 綿球またはガーゼパッド

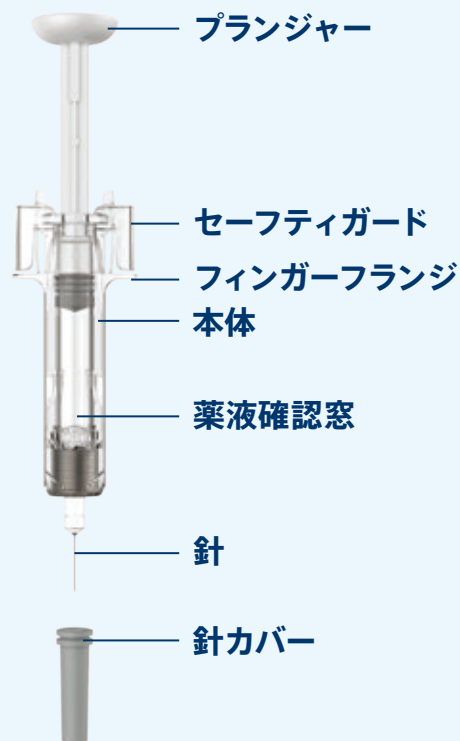


☐ 絆創膏

自己注射準備マットをしき、イラストの上に自己注射に使用する備品一式を並べてください。



シリンジの各パーツの名称と、取り扱い注意事項を確認しましょう。



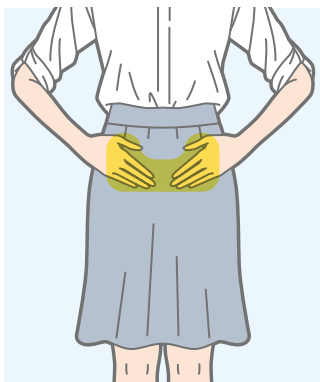
＜取り扱い注意事項＞

- プランジャーを押すと薬液が出ます。
絶対にプランジャーを押さえたり、引っ張ったりしないでください。
- 注射が終わると、セーフティガードが作動し、自動的に針がシリンジの本体の内部に入ります。
- 針を刺す際は、フィンガーフランジの下の本体を持ちます。
- 薬液確認窓から、薬液を確認することができます。
- 針カバーは、注射の準備が整い、実際に注射する直前まで外さないでください。

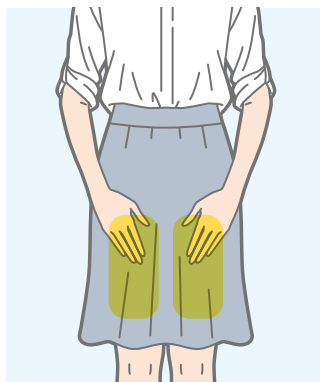


③注射部位を選びます。

注射する 部位の確認



下腹部



太ももの前部



腕の後ろ側

下腹部に注射する場合は、おへその周り5cm内には注射しないでください。
腕の後ろ側にも注射することができます。この場合は介護される方などが注射してください。

！ 押して痛みを感じる部位、あざ、赤くなっている部位や硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。

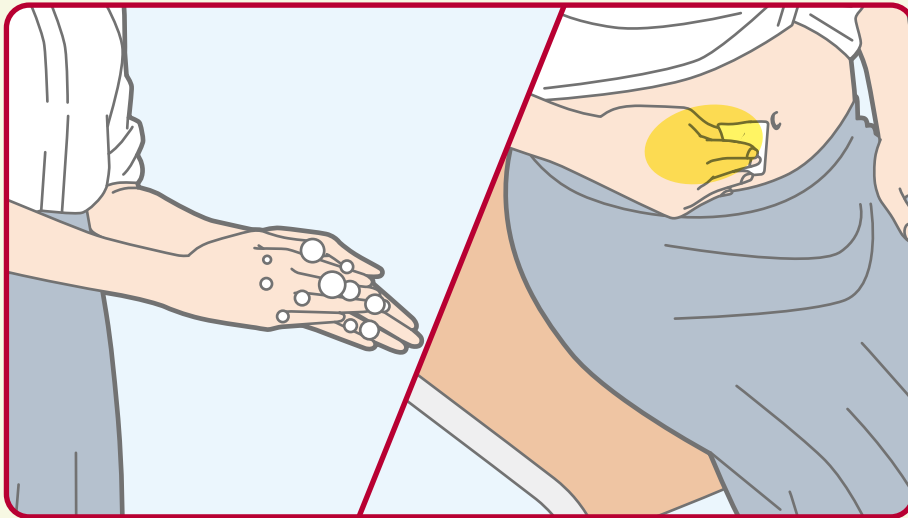
！ 傷痕または皮膚線条（肉割れ）がある皮膚にも注射しないでください。

同じ箇所に繰り返し注射しないでください。



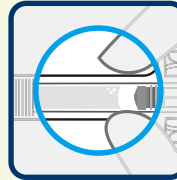


④ 注射部位を消毒します。

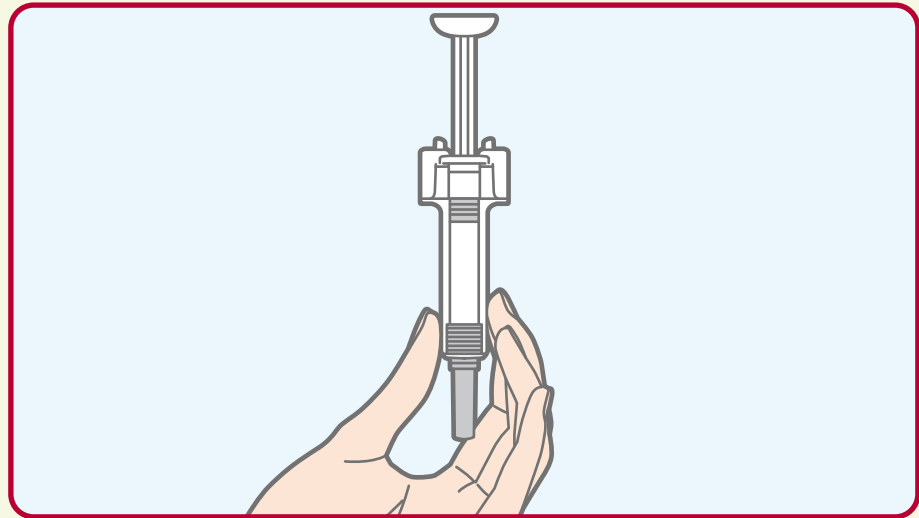


手を石鹸と流水でよく洗いましょう。
清潔なタオルで手をふいてください。
アルコール消毒綿で注射部位をふいて、
乾燥するまで待ちます。

！消毒した後は、注射部位に触れたり、風をあてたり、
息を吹きかけたりしないでください。



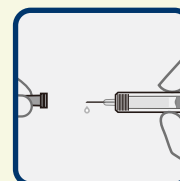
⑤ 薬液の状態を確認します。



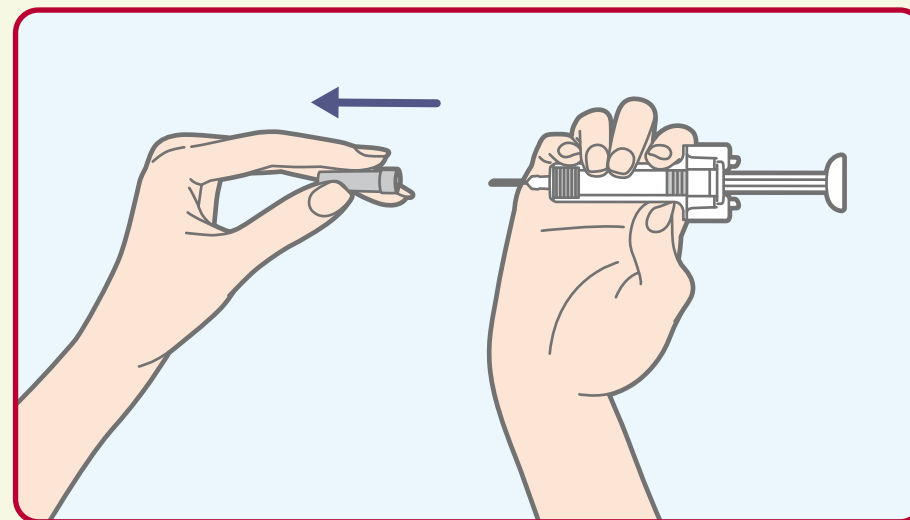
次に、シリンジの薬液確認窓から薬液を確認します。
薬液は無色もしくは淡黄色の澄明な液で、白色または透明の
微粒子を含む場合があります。
シリンジ内に気泡が認められることがありますが、
正常な状態です。

！薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には注射しないでください。
医師または薬剤師、医療機関に連絡して、代わりのシリンジを受け取ってください。

冷蔵庫からお薬を
取り出してから、
30分がたちました。
注射を始めます。

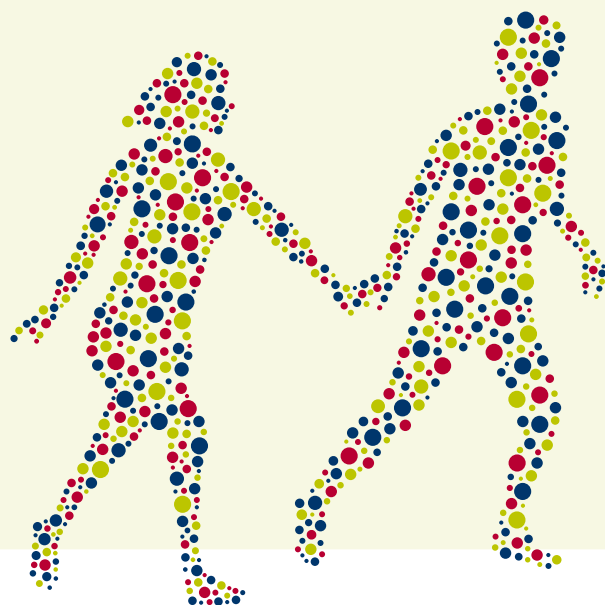


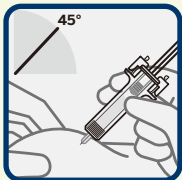
① 針カバーを
取り外します。



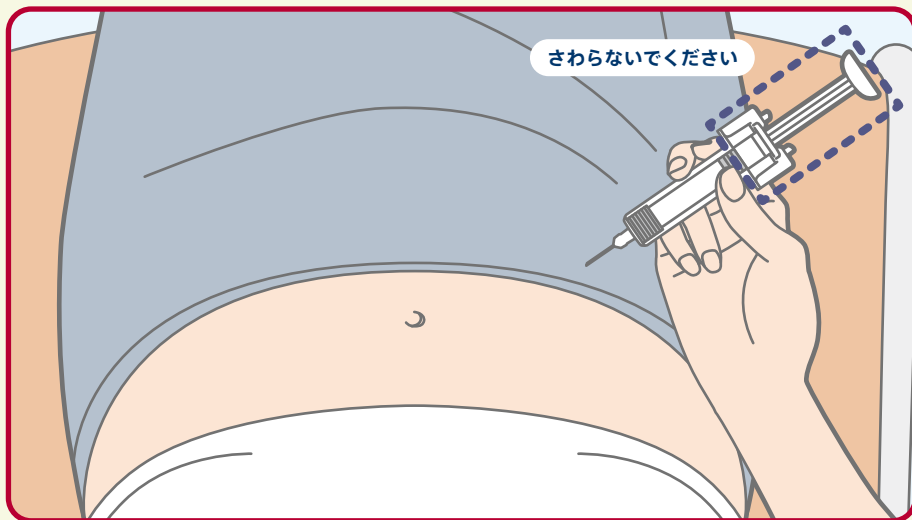
はじめに、針カバーを外します。
シリンジ本体を持ち、針カバーをまっすぐに外します。
液体のしずくが落ちることがありますが、問題ありません。

- ！注射直前まで針カバーを外さないようにしてください。
- ！針カバーは付け直さないでください。誤って指に針を刺してしまう危険があることに加え、針を損傷させてしまう可能性があります。
- ！針にさわらないでください。また、針先には何も触れないようにしてください。
- ！針が曲がっていた場合や、シリンジを落とした場合は使用しないでください。
医師または薬剤師、医療機関に連絡して、指示にしたがってください。



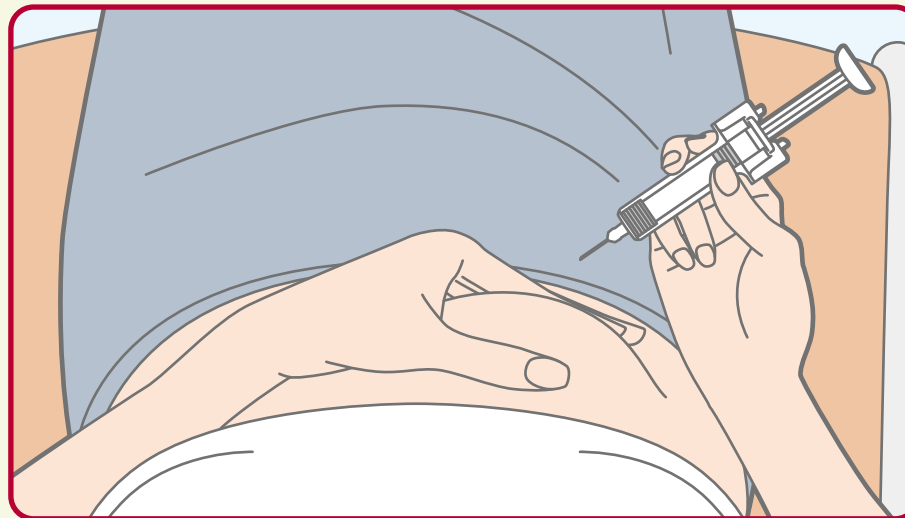


②注射器を持って、針の角度を確認し針を刺します。

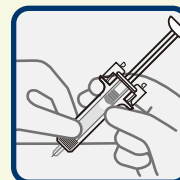
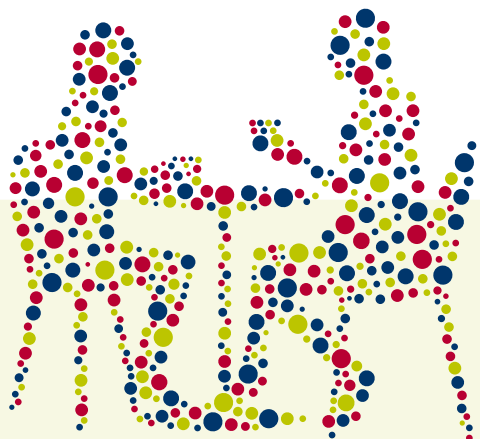


親指、人差し指と中指を、
フィンガーフランジのすぐ下に置きます。

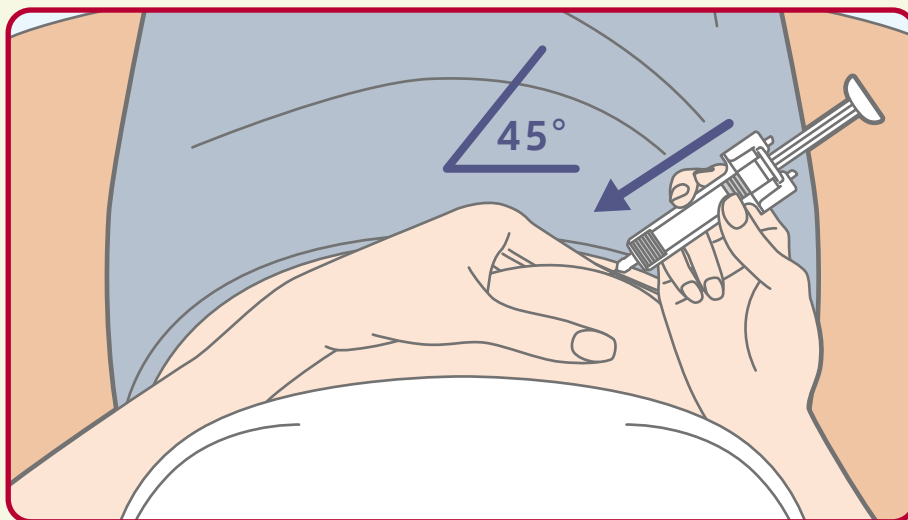
！プランジャー部分またはフィンガーフランジより上の部分には
さわらないでください。
針のセーフティガードが作動する可能性があります。



そして、もう一方の手で、注射部位をつまみます。
皮膚をしっかりとつまんで、筋肉内ではなく、
皮下に注射できるようにします。



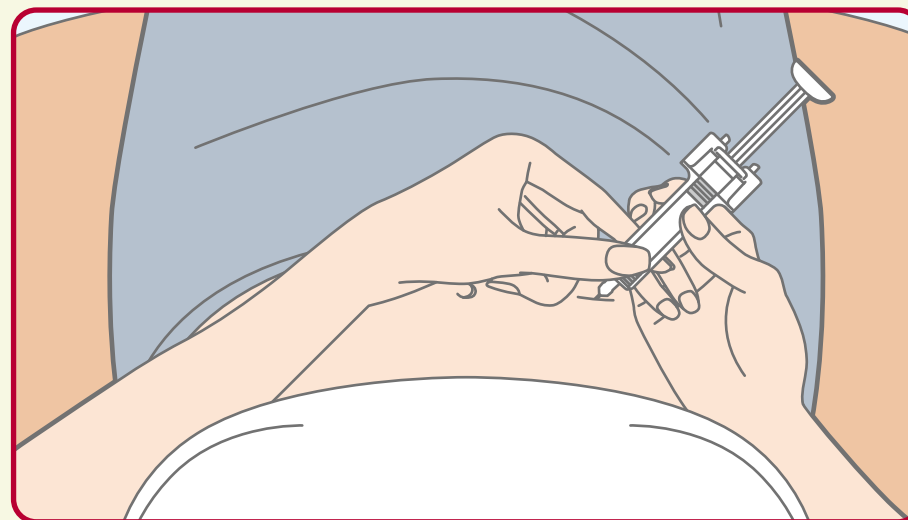
③ 皮膚をつまんだ手を放し、
シリンジに持ちかえます。



皮膚に対して約45°の角度で、針をあてます。
まっすぐに押し出すイメージで、針を刺入します。

理由：筋肉内ではなく、皮下に注射できるようにするため。

注射針を刺したときに激痛を感じたり、
血液が逆流した場合、すぐに針を抜き、
部位を変えて注射してください。

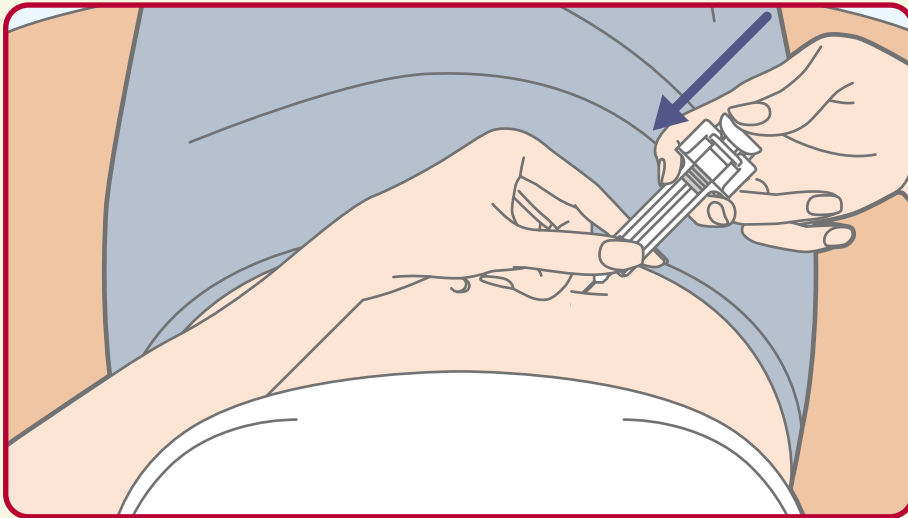


皮膚をつまんでいた手をゆっくりと放します。
その指で、シリンジの本体をつかみます。

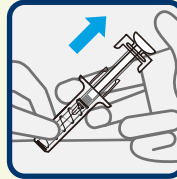
！プランジャーを後ろに引かないでください。
プランジャーが外れてしまったり、
セーフティガードが誤作動を起こしてしまう可能性があります。



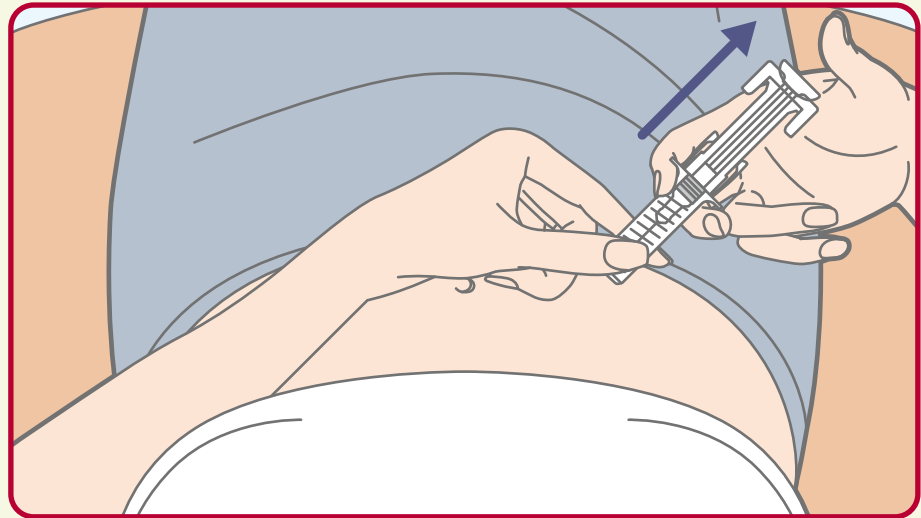
④ プランジャーを押します。



フィンガーフランジのすぐ下に置いていた親指をプランジャーにあて、プランジャーが奥に達して止まるまで、ゆっくり皮下に注入を続けます。最後まで完全に押し切ってください。



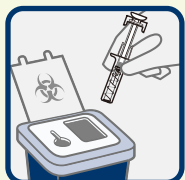
⑤ プランジャーを
押していた指の力を抜きます。



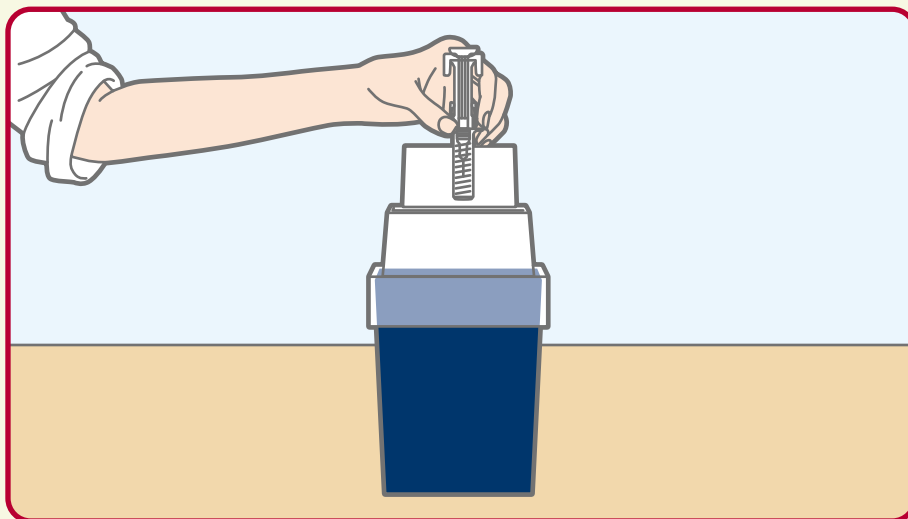
プランジャーを押していた指から力を抜くと、プランジャーが押し戻され、注射針が皮膚から抜かれます。同時にセーフティガードが針をカバーし、固定されます。投与後に薬液の数滴のしずくがみられることがありますが問題はありません。

これで注射が完了です。

シンポニー®を100mg注射する場合は、続けて2本目を同じ手順で注射します。



① 使い終わったシリンジを廃棄します。



使い終わったシリンジや針カバーは、
医療廃棄物容器にすぐに廃棄します。

- ！ 使い終わったシリンジは分解しないでください。
- ！ 使い終わったシリンジは再利用しないでください。
- ！ 使い終わったシリンジや医療廃棄物容器には
お子さまが手を触れないようにしてください。
- ！ シリンジや外した針カバーを家庭用のゴミ箱に捨てないでください。

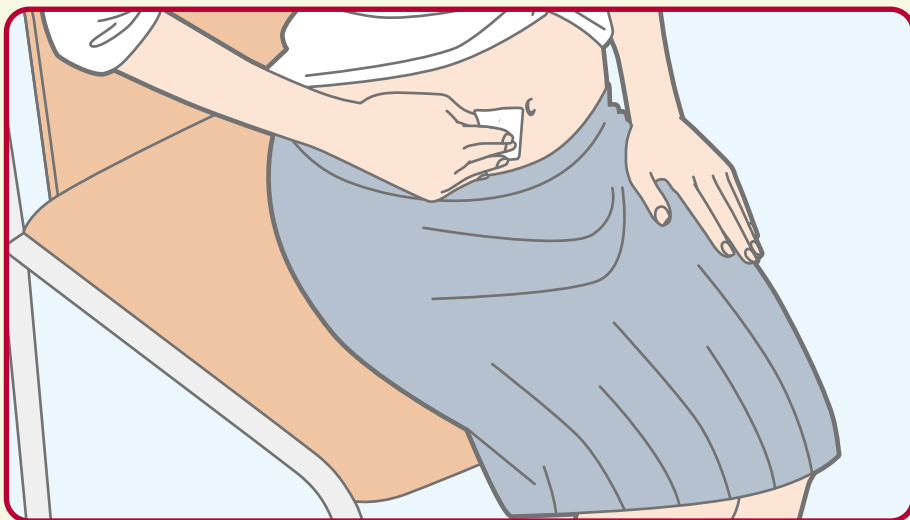
医療廃棄物容器の処理方法



使い終わったシリンジは、取り扱いには十分に注意し、
医療廃棄物容器に入れて医師または薬剤師、
医療機関の指示にしたがって廃棄してください。



②注射部位を確認します。

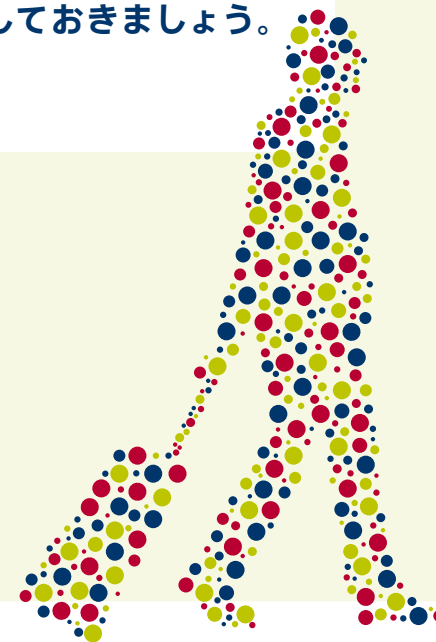


注射部位をアルコール消毒綿で軽く押さえます。
少量の出血または薬液がみられる場合は、
アルコール消毒綿、綿球または
ガーゼパッドで皮膚を押さえます。
必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼ります。

！注射部位をこすったりもんだりしないでください。

注射後に副作用(P3、4参照)があらわれたら、
すぐに医師や看護師にご連絡ください。
何日かたってから副作用があらわれた場合も、
同じく医師にご連絡ください。

連絡先をこの冊子の裏面に記入しておきましょう。



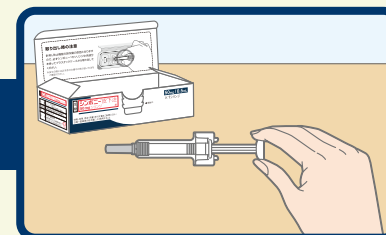
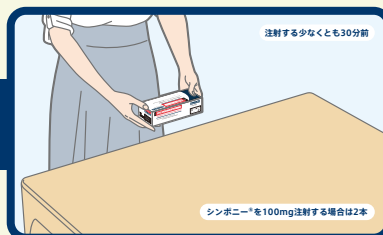
シリンジ

注射手技ダイジェスト

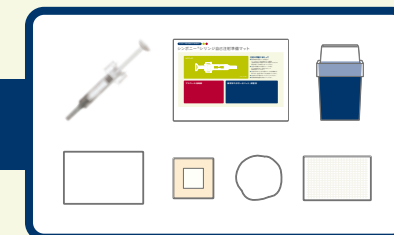
ダイジェストで、注射の流れを確認してみま

ステップ1 注射の準備

① ケースを確認します。

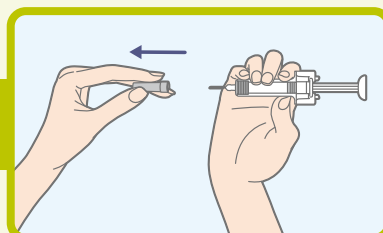


② シンボニー®の注射に必要な備品を
自己注射準備マットに並べます。

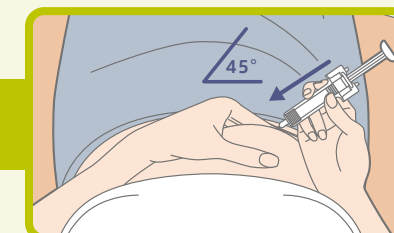
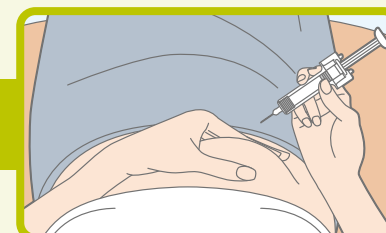
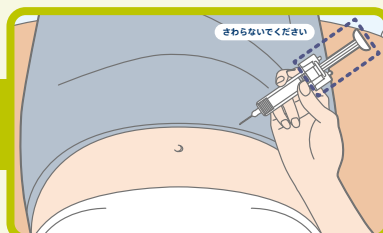


ステップ2 注射の仕方

① 針カバーを取り外します。

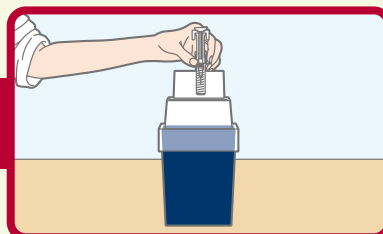


② 注射器を持って、針の角度を確認し針を刺します。

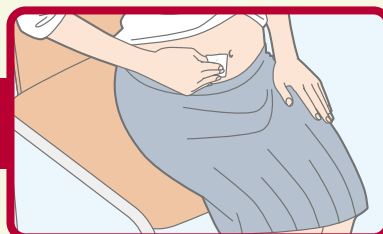


ステップ3 注射後

① 使い終わったシリンジを
廃棄します。

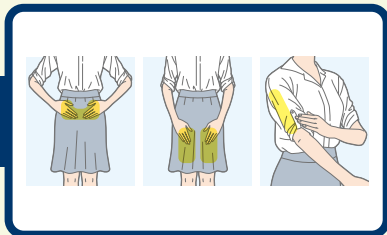


② 注射部位を確認します。

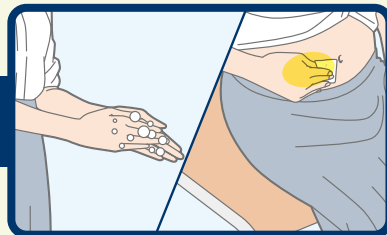


しょう。

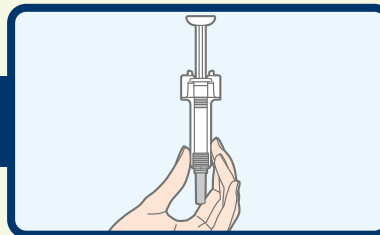
③注射部位を選びます。



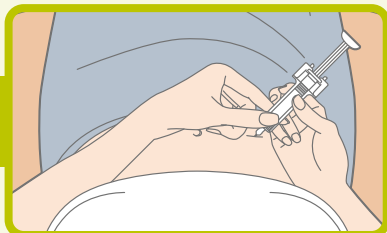
④注射部位を消毒します。



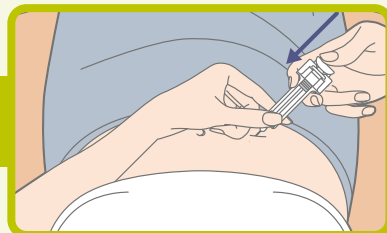
⑤薬液の状態を確認します。



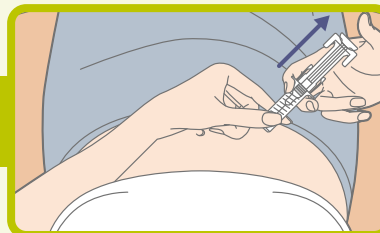
③皮膚をつまんだ手を放し、
シリンジに持ちかえます。



④プランジャーを押します。



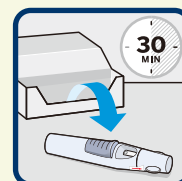
⑤プランジャーを押していた
指の力を抜きます。



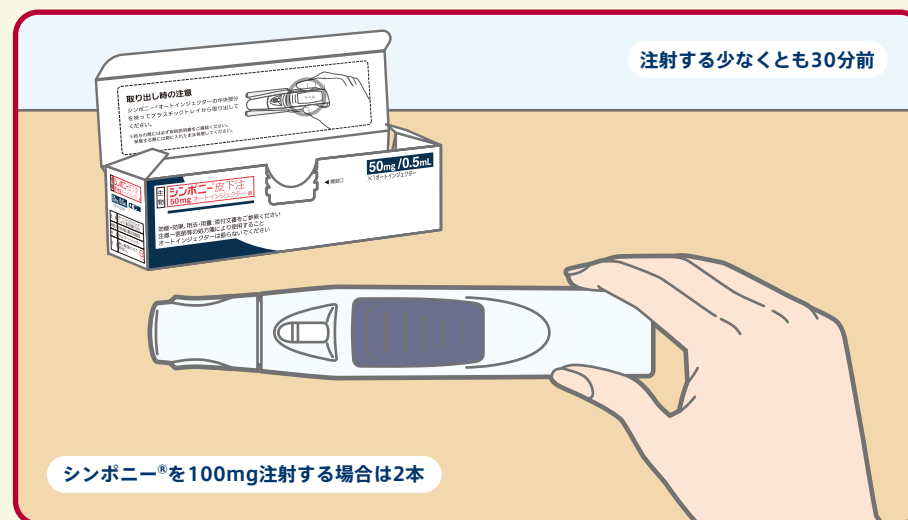
これで注射が完了です。

シンポニー®の注射をスムーズに行っていただくために、補助具をご用意しています。
医療機関にご相談ください。

お薬を置く机はあらかじめ
ふいておきましょう。



① オートインジェクターを
取り出します。



冷蔵庫からケースを取り出します。次に、ケースを開封して
オートインジェクターを取り出します。
オートインジェクターを室温で、平らな場所に
少なくとも30分置きます。置き忘れに注意してください。

！オートインジェクターを電子レンジなどで温めないでください。

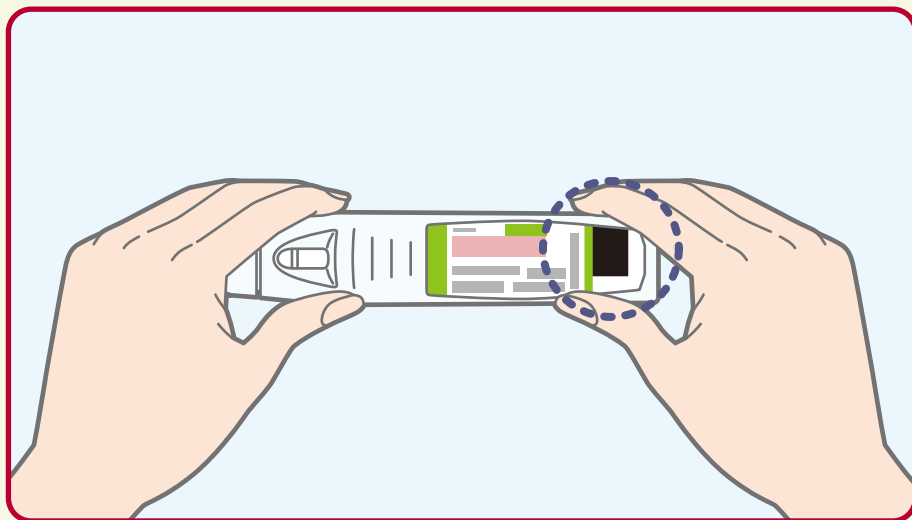
！オートインジェクターを振らないでください。

！オートインジェクターを冷凍しないでください。

お子さまの手が届かない場所に置いてください。

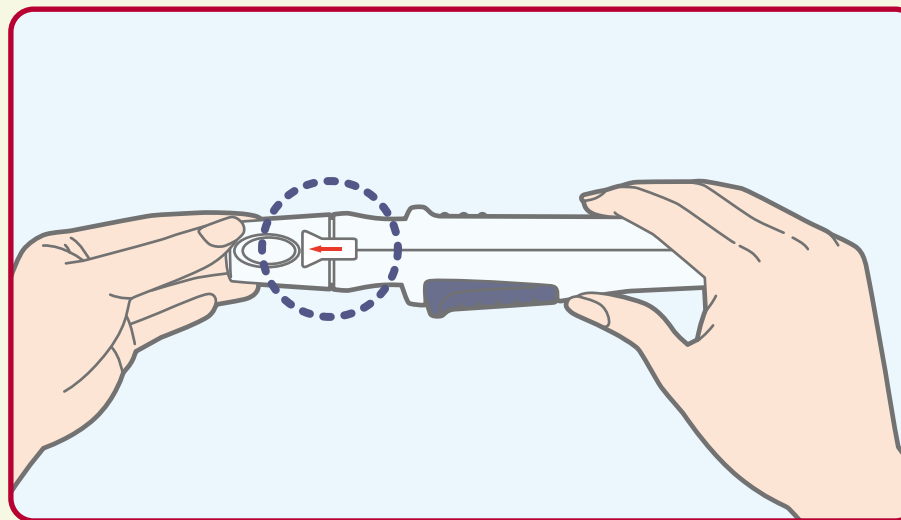


② オートインジェクターを確認します。



オートインジェクターの背面に記載されている
使用期限を確認します。

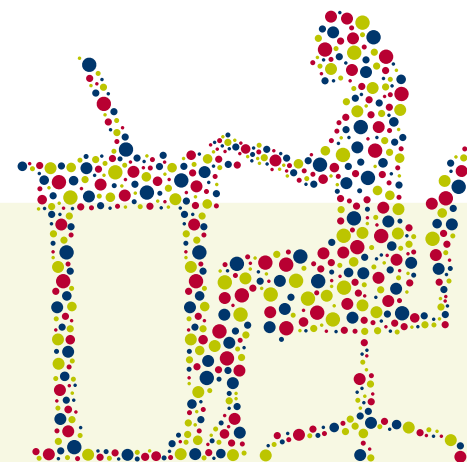
！ 使用期限が切れている場合は、使用しないでください。



キャップに貼られているセーフティシールが
破れていないことを確認します。

！ シールが破れている場合は、使用しないでください。

これらにあてはまる場合は、医師または薬剤師、
医療機関にご連絡ください。



③ シンポニー®の注射に必要な備品を自己注射準備マットに並べます。

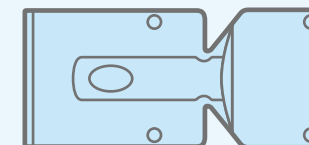


シンポニー®を100mg注射する場合は2本

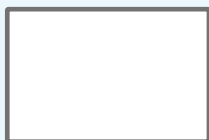
☐ お薬(シンポニー®)



☐ 自己注射準備マット



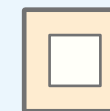
☐ 使用済みオートインジェクターを廃棄するための容器
(医療機関から提供される医療廃棄物容器)



☐ アルコール消毒綿



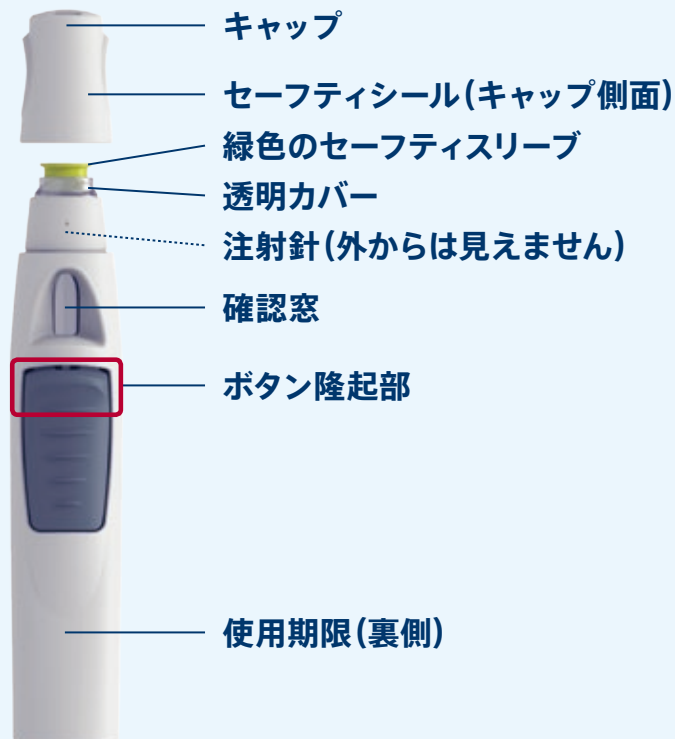
☐ 綿球またはガーゼパッド



☐ 絆創膏

自己注射準備マットをしき、イラストの上に自己注射に使用する備品一式を並べてください。

オートインジェクターの各パーツの名称と、取り扱い注意事項を確認しましょう。

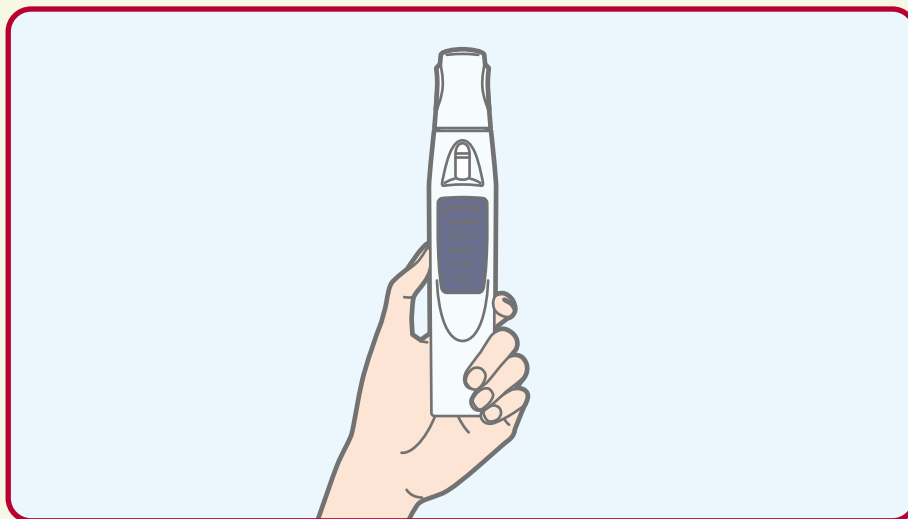


< 取り扱い注意事項 >

- 注射の準備が完了するまでは、キャップを外さないでください。
- キャップの側面にはセーフティシールが貼られており、またオートインジェクターの裏側には使用期限が記載されています。
- 確認窓から薬液を確認することができます。
- 緑色のセーフティスリーブは、薬液が誤って注射されることを防ぐためのものです。
- ボタンの隆起部は、オートインジェクターを皮膚に押しあて、注射の準備が整った場合にのみ、押してください。



④ 薬液の状態を確認します。



冷蔵庫から取り出して30分程が経過したら、確認窓から薬液を確認します。
薬液は無色もしくは淡黄色で、白色または透明の微粒子を含む場合があります。
気泡が認められることがありますが、正常な状態です。

! 薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には注射しないでください。
医師または薬剤師、医療機関に連絡して、代わりのオートインジェクターを受け取ってください。



⑤ 注射部位を選びます。



下腹部



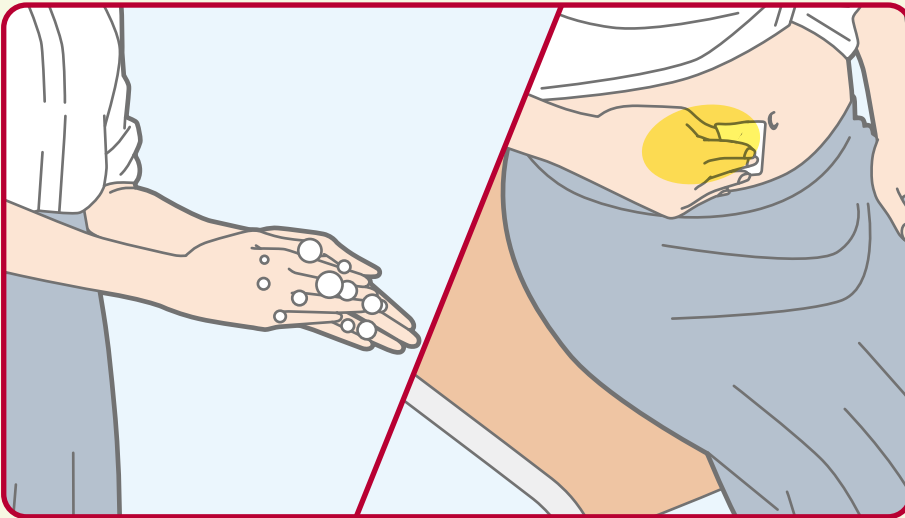
太ももの前部

下腹部に注射する場合は、おへその周り5cm内には注射しないでください。
太ももの前部への注射は皮下脂肪が少ない(痩せた)患者さんの場合には避けてください。腕(上腕部)には注射しないでください。

! 皮下脂肪の薄い部位は避け、皮下に注射が可能となる部位をお選びください。
皮下脂肪が少ない(痩せた)患者さんの場合は、下腹部へ注射してください。皮下脂肪の薄い部位への注射により、注射針先端が骨などの固い組織に接触して針先の曲がりが生じ、針が抜けにくくなる事例が報告されています。関節や骨などの固い組織から離れている部位に投与してください。押して痛みを感じる部位、あざ、赤くなっている部位や硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。傷痕または皮膚線条(肉割れ)がある皮膚にも注射しないでください。同じ箇所に繰り返し注射しないでください。

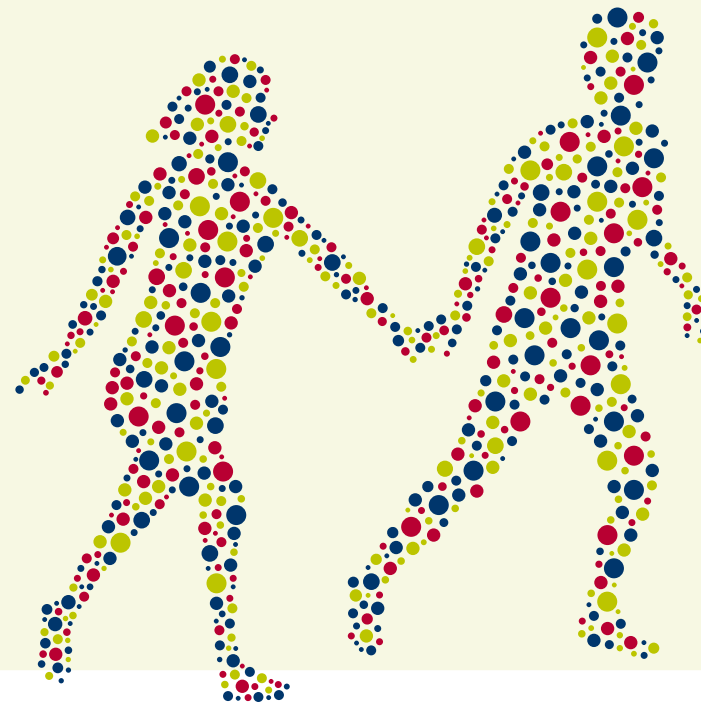
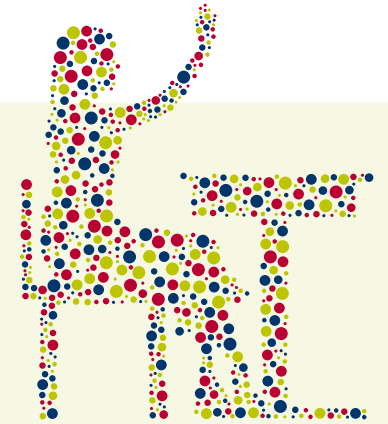


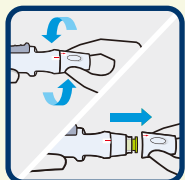
⑥ 注射部位を消毒します。



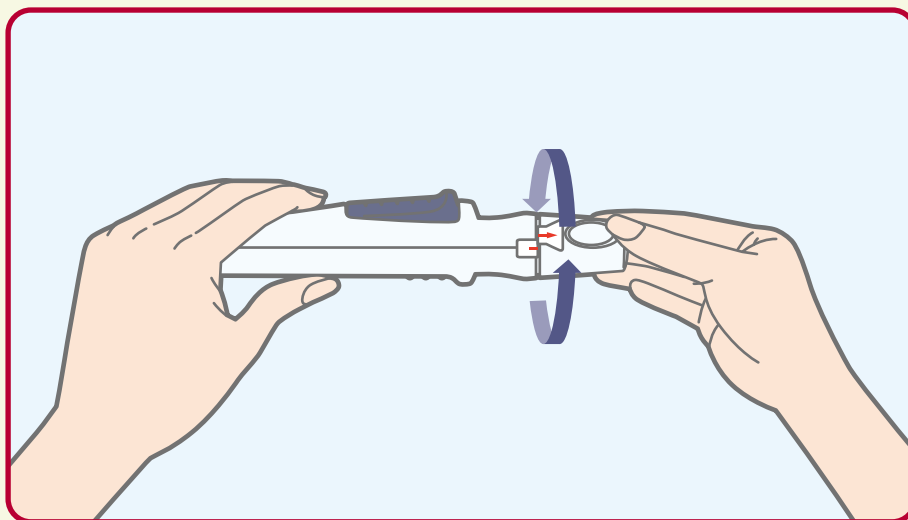
手を石鹸と流水でよく洗いましょう。
清潔なタオルで手をふいてください。
アルコール消毒綿で注射部位をふいて、
乾燥するまで待ちます。

！消毒した後は、注射部位に触れたり、風をあてたり、
息を吹きかけたりしないでください。



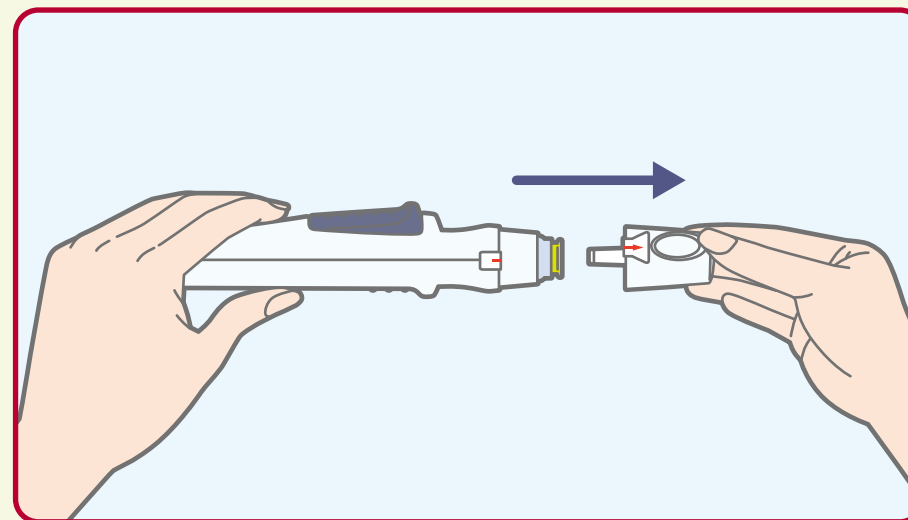


① キャップを外します。



はじめにキャップをひねってセーフティシールを破り、
キャップをまっすぐに外します。

！注射直前までキャップを外さないようにしてください。



キャップをすぐに捨ててください。
薬液のしずくがみられることがありますが
問題はありません。

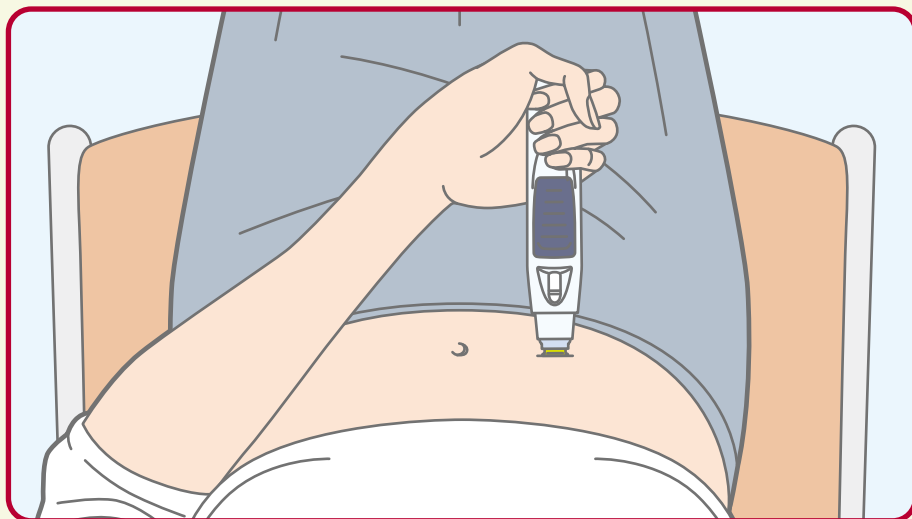
！キャップを外してから5分以内に投与してください。

！針を破損させるおそれがありますので、キャップは付け直さないでください。

！キャップを外した後にオートインジェクターを落とした場合には、
使用しないでください。医師または薬剤師、医療機関に連絡して、
指示にしたがってください。



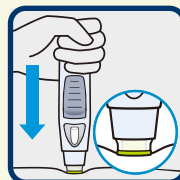
② 注射位置を決めます。



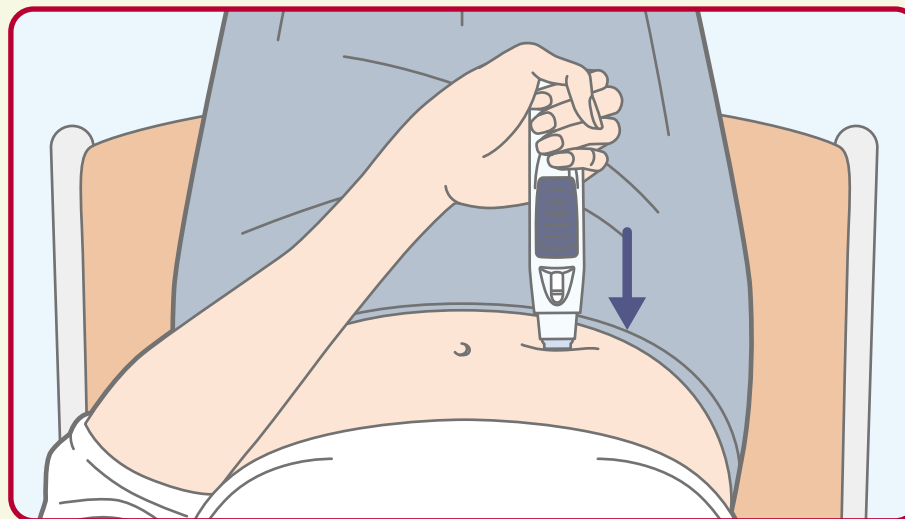
ボタンに触れないようにオートインジェクターを持ち、皮膚に垂直にあてます。注射部位ができるだけ平らな状態であること、緑色のセーフティスリーブが皮膚にぴったり付いていることを確認してください。

！ 皮膚をつまんで投与することにより、つまんだ指に針が刺さる事故の発生が報告されています。特に皮下脂肪が少ない(痩せた)患者さんでは、つまんだ指に誤って針が刺さるリスクを軽減するため、オートインジェクターは皮膚に対して垂直にしてください。また、注射部位が平らな状態になるよう注意してください。

！ 注射する位置を決めている最中は、ボタンに触れたり押したりしないでください。



③ 皮膚に押しあてます。



オートインジェクターを皮膚に押しあてると、緑色のセーフティスリーブが透明カバー内にスライドします。

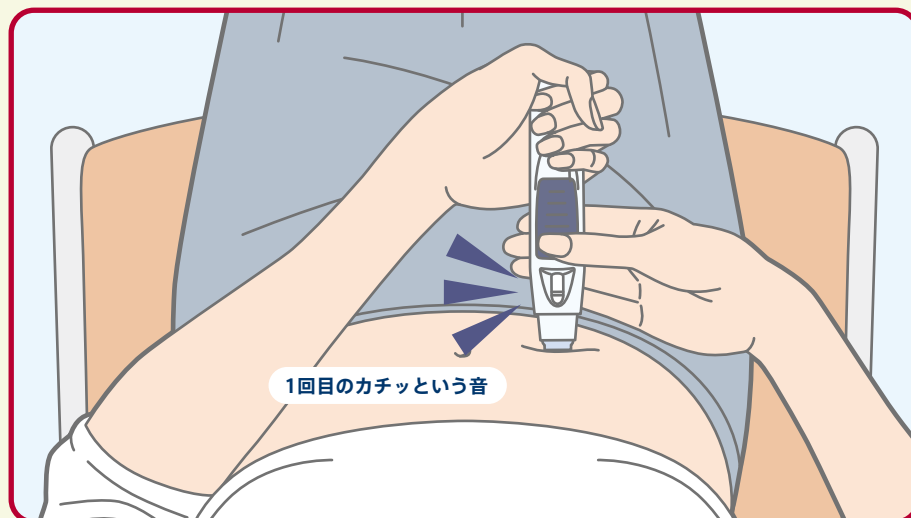
！ 注射部位に強く押しあて過ぎないでください。

緑色のセーフティスリーブが透明カバー内に収まる程度に押しあててください。

！ 緑色のセーフティスリーブが透明カバー内にスライドする前に、ボタンに触れたり押したりしないでください。



④ ボタンを押して待ちます。



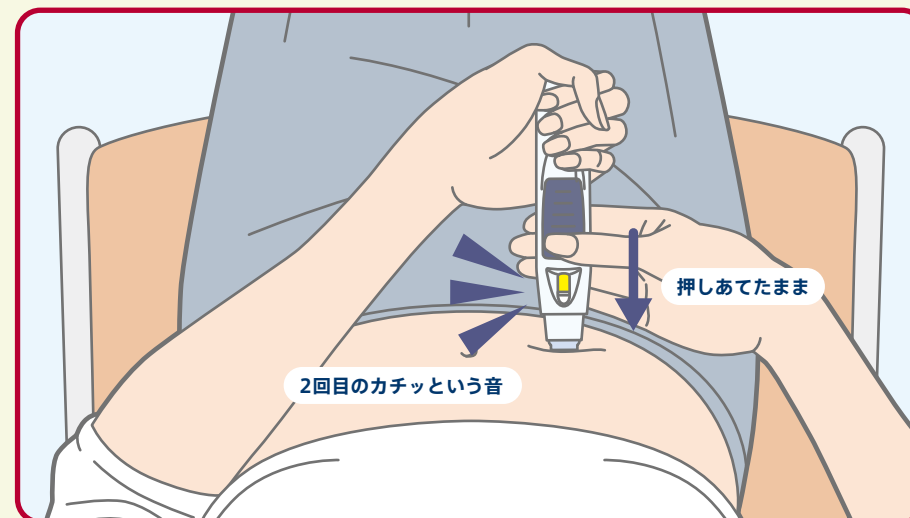
オートインジェクターを皮膚に押しあてたまま、もう一方の手で、ボタンの隆起部を押します。
1回目のカチッという音が鳴り、薬液の注入が始まります。

！オートインジェクターはまだ押しあてたままにしてください。
持ち上げると、薬液がもれることがあります。

ボタンを押し続ける必要はありません。



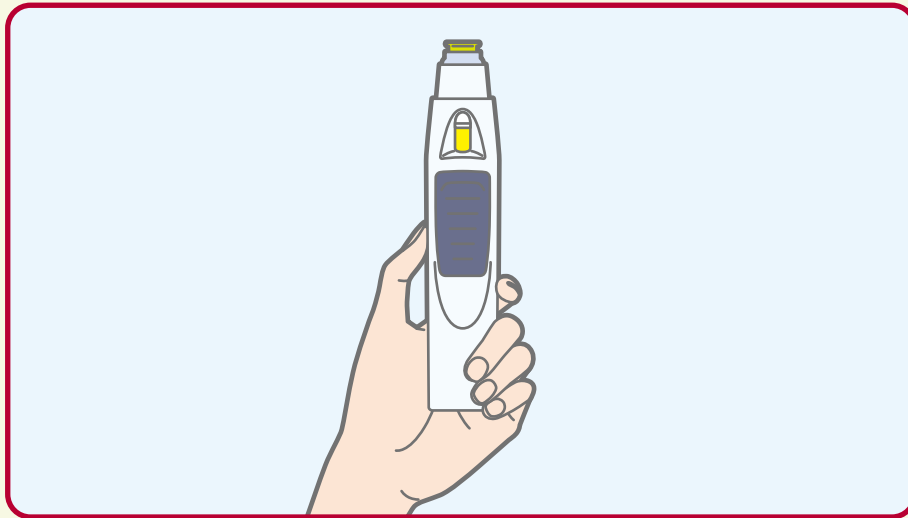
⑤ 2回目のカチッという音が鳴ります。



2回目のカチッという音が鳴るまで3～15秒、オートインジェクターを皮膚に押しあてたままにします。
2回目のカチッという音が鳴ったら注射は終了です。
オートインジェクターを皮膚から離してください。
カチッという音が聞き取れない場合は、ボタンを押してから15秒数えた後にオートインジェクターを皮膚から離してください。
投与後に薬液のしずくがみられることがありますが問題はありません。



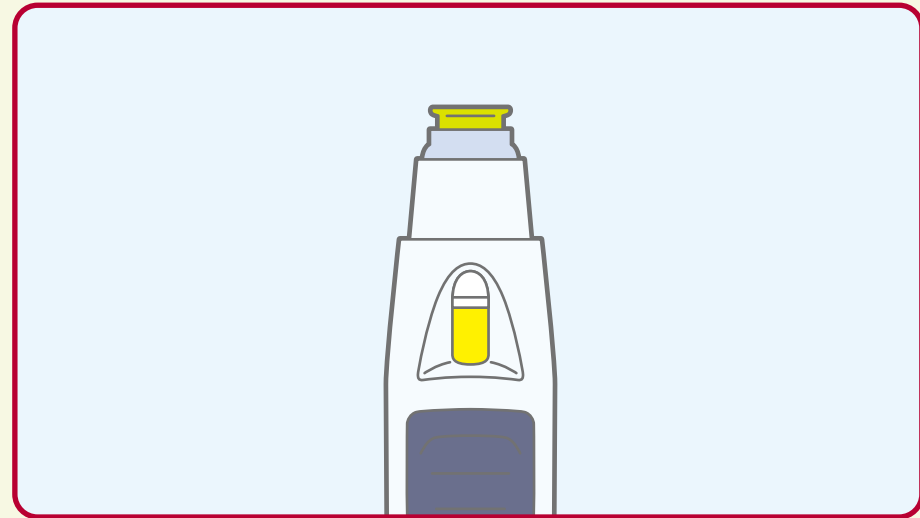
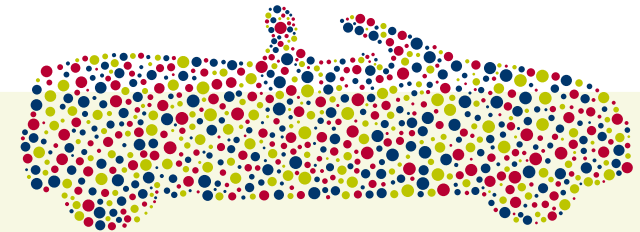
⑥ 確認窓をチェックします。



オートインジェクターを皮膚から離します。
確認窓に黄色の表示が見えることで、
オートインジェクターがきちんと動作したことを確認します。

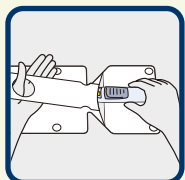
注射が完了したら、黄色の表示が確認窓のおよそ半分の位置に表示されます。黄色の表示が揺れたり、確認窓に少ししか黄色の表示が見えない、または確認窓のほとんどに黄色の表示が見える場合も、正常に注射は終了しています。

シンボニー®を100mg注射する場合は、続けて2本目を同じ手順で注射します。

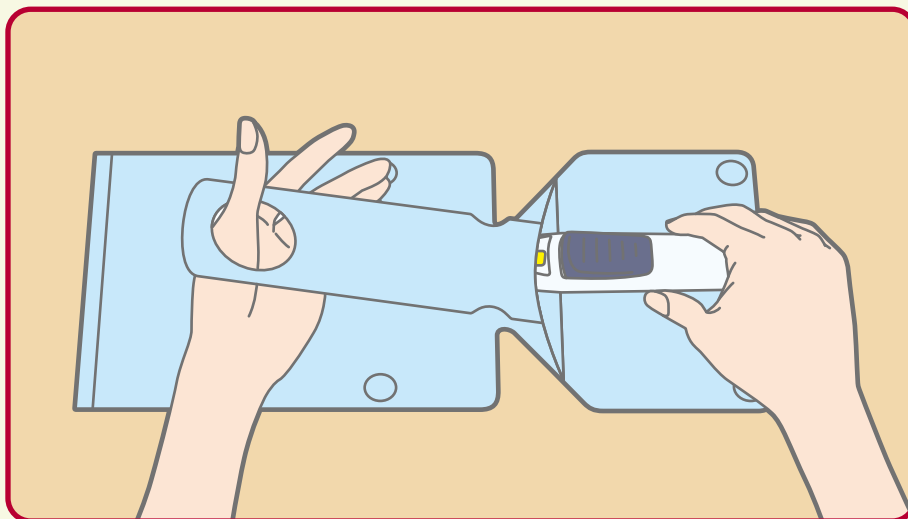


確認窓に黄色の表示が見えない場合は、
ヤンセンファーマ株式会社 ジョンソン・エンド・ジョンソン
おくすり相談窓口(0120-183-279)、
田辺ファーマ株式会社 くすり相談センター 患者さん・ご家族
専用窓口(0120-331-195)までご連絡ください。

！医師に相談することなく、ご自身の判断で2回目の注射をしないでください。



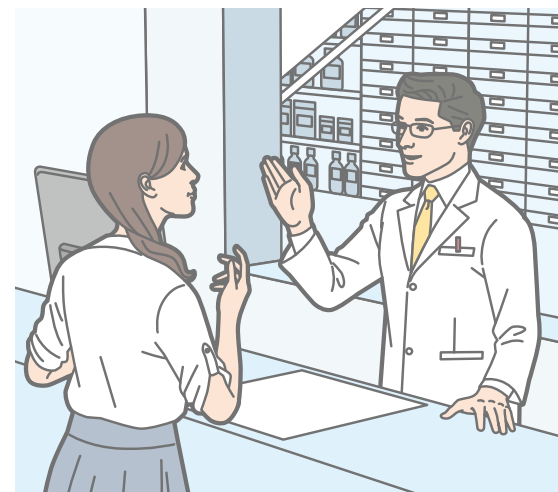
①使用済みのオートインジェクターを廃棄します。



使用済みのオートインジェクターは、
医療廃棄物容器にすぐに廃棄します。

- ！使用済みのオートインジェクターや医療廃棄物容器にはお子さまが
手を触れないようにしてください。
- ！使用済みのオートインジェクターを家庭用のゴミ箱に捨てないでください。

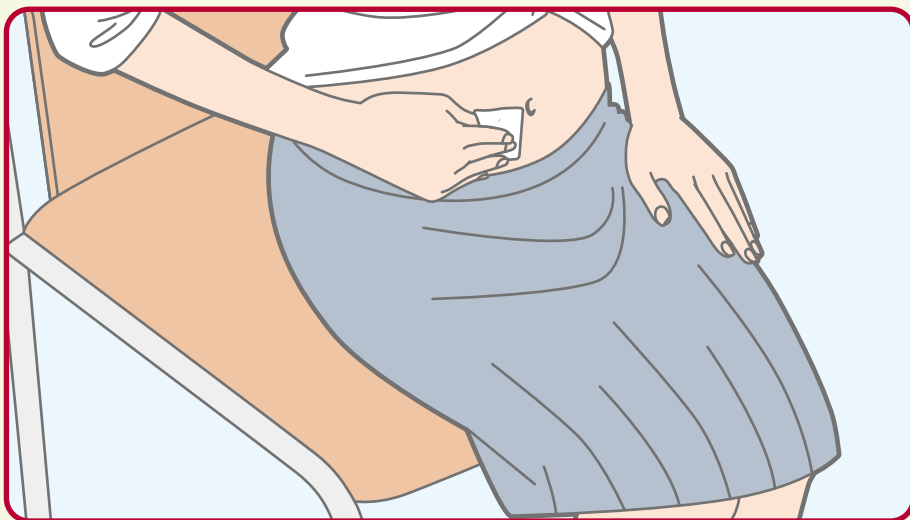
医療廃棄物容器の処理方法



使用済みのオートインジェクターは、
取り扱いには十分に注意し、
医療廃棄物容器に入れて医師または薬剤師、
医療機関の指示にしたがって廃棄してください。



②注射部位を確認します。

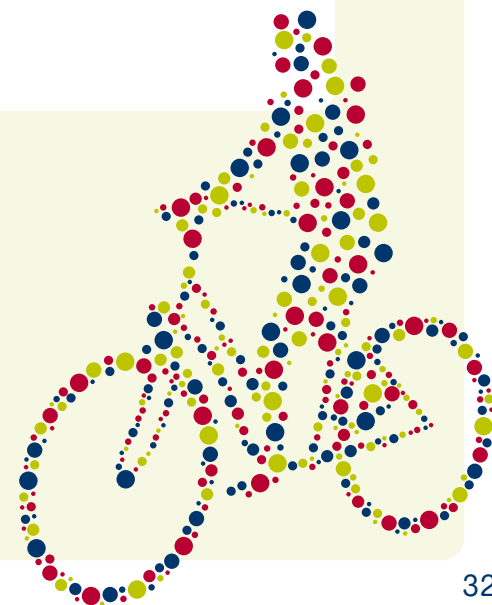


注射部位をアルコール消毒綿で軽く押さえます。
少量の出血または薬液がみられる場合は、
アルコール消毒綿、綿球または
ガーゼパッドで皮膚を押さえます。
必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼ります。

！注射部位をこすったりもんだりしないでください。

注射後に副作用(P3、4参照)があらわれたら、
すぐに医師や看護師にご連絡ください。
何日かたってから副作用があらわれた場合も、
同じく医師にご連絡ください。

連絡先をこの冊子の裏面に記入しておきましょう。



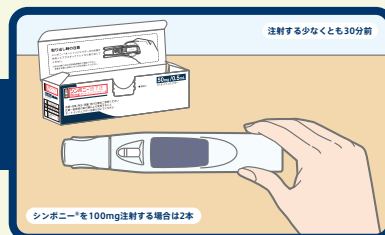
オートインジェクター

注射手技ダイジェスト

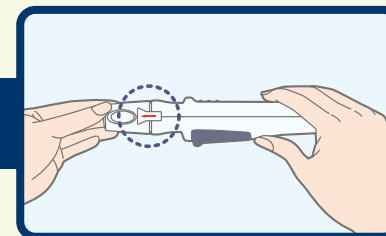
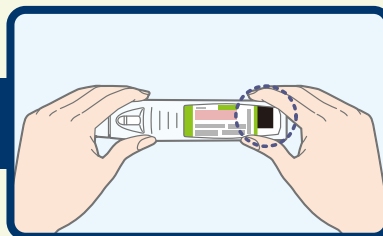
ダイジェストで、注射の

ステップ1 注射の準備

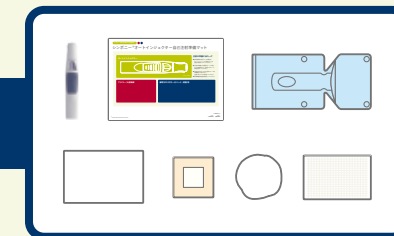
① オートインジェクターを
取り出します。



② オートインジェクターを確認します。

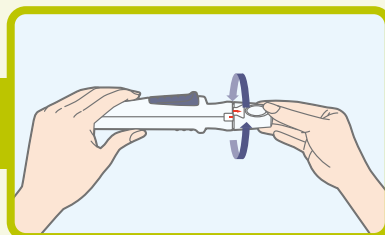


③ シンボニー®の注射に必要な備品を
自己注射準備マットに並べます。

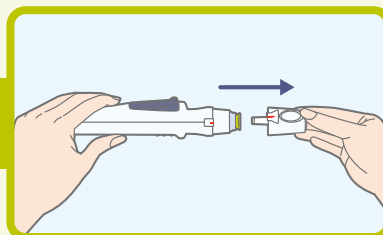


ステップ2 注射の仕方

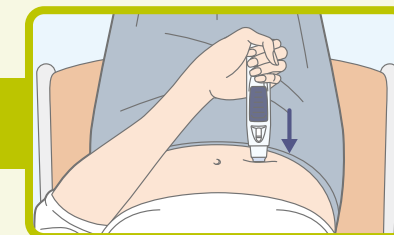
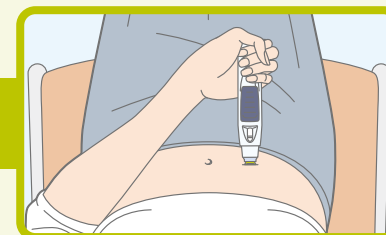
① キャップを外します。



② 注射位置を決めます。

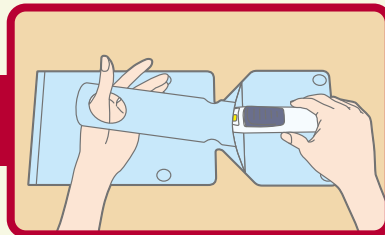


③ 皮膚に押しあてます。

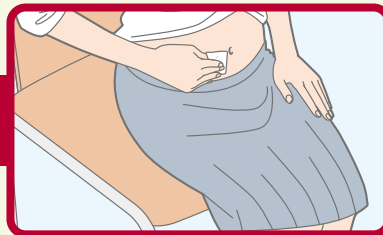


ステップ3 注射後

① 使用済みのオート
インジェクターを廃棄します。

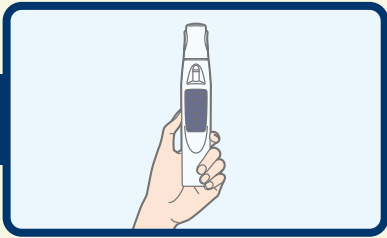


② 注射部位を確認します。

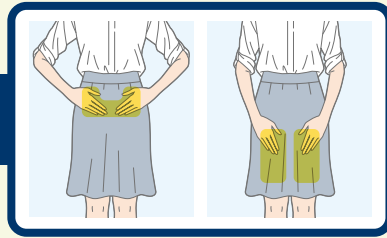


流れを確認してみましょう。

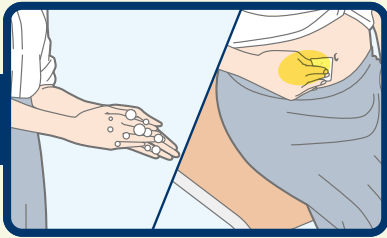
④薬液の状態を確認します。



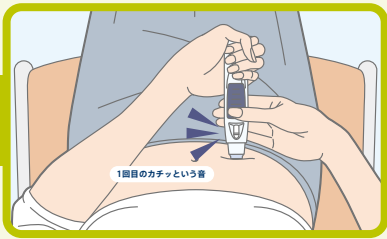
⑤注射部位を選びます。



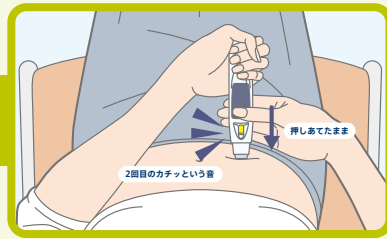
⑥注射部位を消毒します。



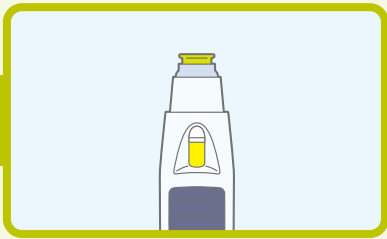
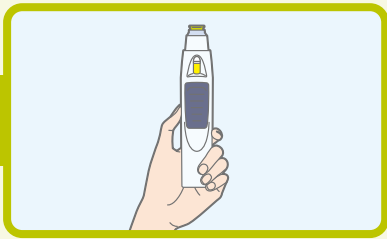
④ボタンを押して待ちます。



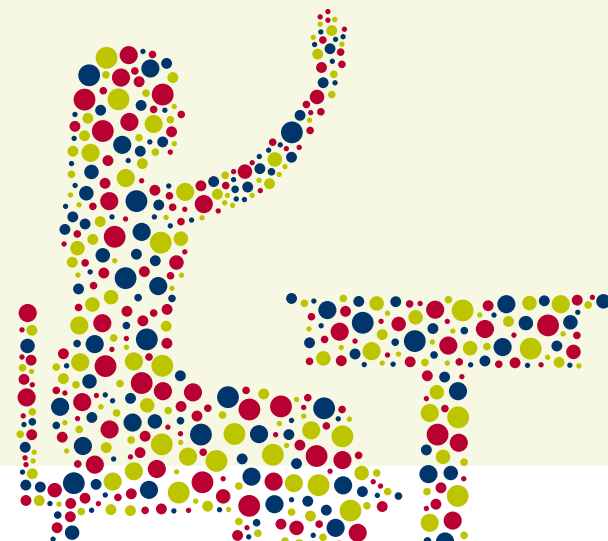
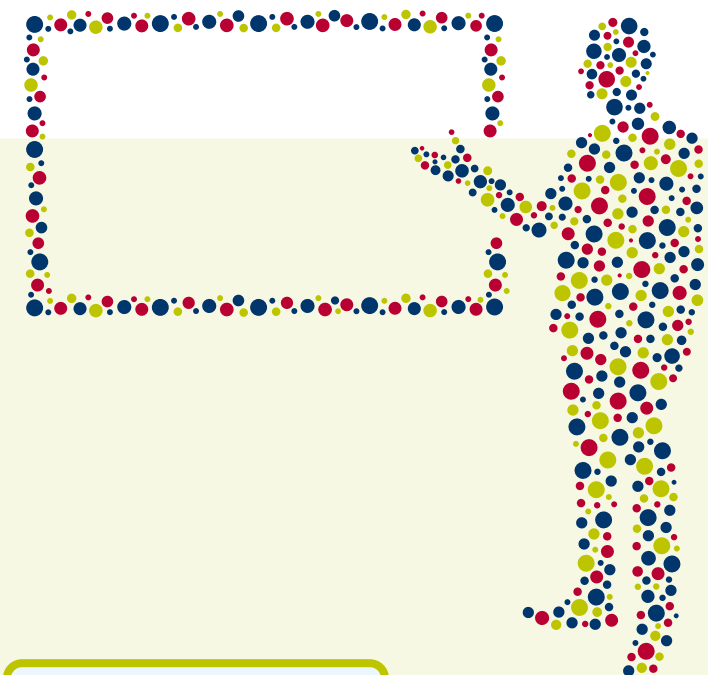
⑤2回目のカチッという音が鳴ります。



⑥確認窓をチェックします。



これで注射が完了です。



Q. 決められた日に注射できなかった場合はどうしたらよいですか？

A. 自己判断でほかの日に注射することはせず、医師に連絡し、指示にしたがってください。
決められた日に注射できないことがあらかじめわかっている場合は、医師に確認して指示にしたがってください。

Q. 注射は何時にすればよいですか？

A. 注射する時間には決まりはありませんが、
入浴後に注射をするなど、注射を忘れないように習慣づけましょう。

Q. 体調がすぐれない場合でも、予定どおり注射してよいですか？

A. 自己判断で注射をせずに医師に連絡し、指示にしたがってください。

Q. 注射する前に、誤ってお薬を落としてしまいました。どうしたらよいですか？

A. 決して注射を行わず、医師に連絡して指示にしたがってください。
シリンジもしくはオートインジェクターが破損している場合があります。

Q. 注射のとき、液がもれてしまいました。どうしたらよいですか？

A. 液もれの程度を医師に連絡し、指示を受けてください。
なお、シリンジの針カバーを取り外した後に薬液のしずくがみられることがありますが、問題ありません。

Q. 注射のときに、薬液が目や傷口に入ってしまったら、どうしたらよいですか？

A. 薬液が目などに入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、
いつもと違うと感じた場合は、医師に連絡し、指示を受けてください。



MEMO

ヤンセンファーマ株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソンおくすり相談窓口

0120-183-279

受付時間: 9:00-17:00 (土・日・祝日・会社休日を除く)

田辺ファーマ株式会社 くすり相談センター
患者さん・ご家族専用窓口

0120-331-195

受付時間: 9:00-17:30 (土日・祝日・会社休日を除く)

医療機関名

電話番号

主治医の名前

薬局名

電話番号

